

(工業専門課程 一級自動車工学科) 令和6年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			オリエンテーション	1年間の授業、行事などの概要を理解し、目標と時期を整理するために実施する。目指す目標の目的を理解し、達成するためにはどのような過程でどのような努力が必要かを考える。	1前	19.2		○			○		○		
○			基礎自動車工学	自動車の基本的な構造、構成部品を理解する。	1前	14.4		○			○		○		
○			エンジン構造1F	4ストローク1サイクルガソリンエンジンの構造、作動を理解する。	1前	48.0		○			○		○		
○			シャシ構造1F	1.動力伝達装置の構成する各機構の構造、作動を理解する。(クラッチ、マニュアルトランスミッション) 2.タイヤ、ホイールの構造、作動を理解する。	1前	48.0		○			○		○		
○			電装品構造1F	1.自動車に使用されている電装品を理解するために、電気の基本を理解する。 2.バッテリーの構造、機能、整備を理解する。	1前	48.0		○			○		○		
○			自動車工学1F	1.レッカーの計算を理解する。 2.エンジン系の計算を理解する。 3.シャシ系の計算理解する。	1前	19.2		○			○		○		
○			整備機器取扱1F	自動車を整備する上での工具、測定具の構造、取り扱い、保守等を理解する。	1前	19.2		○			○		○		
○			エンジン1A	1.エンジンの基本的な構造を学ぶために行う。 2.エンジンの分解、組み付け方法と、基本注意事項を学ぶために行う。 3.エンジン分解後の各部の測定方法、調整方法、良否判定を学ぶために行う。 4.自動車に使用されている電装品を理解するために、電気の基本を理解する。	1前	52.8					○	○		○	
○			エンジン1B	1.エンジンの基本的な構造の復習と共にDOHCを学ぶために行う。 2.エンジンの分解、組み付け方法と、基本注意事項を学ぶために行う。 3.ノギス、マイクロメータ、ダイヤルゲージ、シリンダゲージ等を使った測定を学ぶために行う。 4.エンジン分解後の各部の測定方法、調整方法、良否判定を学ぶために行う。 5.半導体を理解する。	1前	52.8					○	○		○	

(工業専門課程 一級自動車工学科) 令和6年度																
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○			シャン1A	1. 工作機械の操作及び危険を理解する。 2. ボルトの特徴を理解する。 3. 工作作業を通して、物の大切さを理解する。 4. 自動車に使用されている電装品を理解するために、電気の基本を理解する。	1前	52.8			○	○			○			
○			シャン1B	1. 計測機器を使用し、クラッチの分解、組み立て、点検調整、が出来作動が理解できる。 2. クラッチのトラブルシューティングができる。 3. マニュアルトランスミッションの分解組み立てを理解し、機能と構造を理解する。 4. マニュアルトランスミッションの動力伝達と変速比の計算が出来る。 5. プロペラシャフトの構造、機能、構成部品の理解。	1前	52.8			○	○				○		
○			車両1A	1. 実習授業で車両を取り扱う方法と注意点を学び、実際のお客さまの車両を取り扱うことへつなげる目的で行う。 2. ジャッキアップで作業する場合の作業方法、そのときの注意点を学ぶために行う。 3. タイヤ脱着の基本手順を学び、作業姿勢、工具選択の重要性を理解するために行う。 4. 自動車に使用されている電装品を理解するために、電気の基本を理解する。 5. リレー、複合スイッチの点検方法を学ぶ。	1前	52.8			○	○				○		
○			車両1B	1. 実習授業で車両を取り扱う方法と注意点を学び、実際のお客さまの車両を取り扱うことへつなげる。 2. リフトアップで作業する場合の作業方法、そのときの注意点を学ぶために行う。 3. ベルト、T/M、サスペンション脱着の基本手順を学び、作業姿勢、工具選択の重要性を理解するために行う。 4. 配線図の読み方を学ぶ。	1前	52.8			○	○				○		
○			エンジン構造1S	1. 4ストローク1サイクルエンジンの構造、作動を理解する。 2. エンジンの電子制御装置の構造、作動を理解する。	1後	48.0			○			○			○	
○			シャン構造1S	ブレーキ装置を構成する各機構の構造、作動を理解する。	1後	48.0			○			○			○	
○			電装品構造1S	1. 電気の基礎的な原理法則を理解する。 2. 始動装置の構造、作動を理解する。 3. 点火装置の構造、作動を理解する。	1後	24.0			○			○			○	
○			自動車工学1S	1. レッカーの計算を理解する。 2. エンジン系の計算を理解する。 3. シャン系の計算理解する。	1後	38.4			○			○			○	

(工業専門課程 一級自動車工学科) 令和6年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			自動車法規1S	1. 自動車の道路運送車両の保安基準に関わる項目を理解する。 2. 国家2級試験法令問題を理解する。	1後	24.0		○			○		○		
○			エンジン1C	1. ジーゼルエンジンの基本的な構造を学ぶために行う。 2. ガソリンエンジンとディーゼルエンジンの構造の違いについて学ぶ。 3. ジーゼルエンジンの分解、組み付け方法と、基本注意事項を学ぶために行う。 4. ジーゼルエンジン分解後の各部の測定方法、調整方法、良否判定を学ぶために行う。 5. 点火装置の構成部品、構造を理解する。 6. スパークプラグの構造、種類を理解する。	1後	52.8				○	○		○		
○			エンジン1D	1. 電子制御の基本的な仕組みを学ぶために行う。 2. テスタを使用して、各種センサの基本的な点検ができる。 3. コンサルト3の取り扱いの基礎を学ぶ。 4. オルタネーターの構成部品、構造、作動を学ぶ。 5. オルタネーターの分解、組み付けができる。	1後	52.8				○	○		○		
○			シャシ1C	1. FF車の構造、特徴を理解する。 2. トランスファの機能と構造を覚える。 3. ラックアンドピニオンの機能と構造を覚える。 4. パーフィールドジョイントの機能と構造を覚える。 5. 始動装置の構造、作動を理解する。 6. スターターモーターの分解、組み付けができるようになる。 7. スターターモーターの点検方法を学ぶ。	1後	52.8				○	○		○		
○			シャシ1D	1. ディファレンシャルの機能と構造を覚える。 2. LSD(差動制限型ディファレンシャル)の機能と構造を覚える。 3. ファイナルギヤのバックラッシュ測定。ファイナルギヤの歯当り測定。 4. センターディファレンシャルの機能と構造を覚える。 5. ワイパーの構成部品、構造を理解する。 6. ワイパーボードを利用し簡単な故障探究を学ぶ。	1後	52.8				○	○		○		
○			車両1C	1. ドラムブレーキの分解、組み付け調整ができる。シューの残量 ホイールシリンダー分解、組み付け含む。 2. ディスクブレーキの分解、組み付け調整ができる。パッド残量 キャリパーオーバーホール含む。 3. ディスクローター、ハブベアリングの測定又は、異常判定が出来る。 4. ブレークフルードの交換ができる。 5. 制動倍力装置の簡易点検ができる。 6. バッテリーの比重の測定方法が出来るようになる。	1後	52.8				○	○		○		○

(工業専門課程 一級自動車工学科) 令和6年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			車両 1 D	1. 実習授業で車両を取り扱う方法と注意点を学び、実際のお客さまの車両を取り扱うことへつなげる目的で行う。 2. 法定 1 年点検が販社で定められた基準時間内で出来ることを目的で行う。 3. ディスク・ブレーキ・パッドの交換が出来ることを目的で行う。 4. お客さま対応 (電話対応) 5. 計器装置の構成部品、作動を理解する。	1 後	52.8			○	○		○		○	
○			オリエンテーション	1 年間の授業、行事などの概要を理解し、目標と時期を整理するために実施する。 目指す目標の目的を理解し、達成するためにはどのような過程でどのような努力が必要かを考える。	2 前	3.2			○		○		○		
○			エンジン整備 2 F	ジーゼルエンジンの燃料装置の構造、作動を理解する。	2 前	48.0			○		○		○		
○			シャシ整備 2 F	1. 動力伝達装置のオートマチックトランスミッションの構造、作動を理解する。 2. 動力伝達装置の整備、故障原因探求を理解する。 3. アクスル及びサスペンション装置のボデーの振動及び揺動を理解する。 4. ステアリング装置の構造、作動を理解する。 5. ホイールアライメントの構造、機能を理解する。	2 前	48.0			○		○		○		
○			自動車工学 2 F	国家 2 級試験工学計算問題を理解する。	2 前	38.4			○		○		○		
○			電装品整備 2 F	1. バッテリーの機能を理解する。 2. 自動車に使用されている電装品を理解するために、電気の基本 (半導体) を理解する。 3. エアコンディショナの構造、作動、整備を理解する。	2 前	48.0			○		○		○		
○			エンジン 2 A	1. ガソリンエンジンの電子制御 (噴射、スロットル、点火等) を理解する。 2. コンサルト (ダイアグノーシス) で自己診断、アクティブテスト等ができる。 3. コンサルトを使用して故障探求ができる。	2 前	52.8					○	○		○	○
○			エンジン 2 B	1. エアコンサイクルを学ぶ。 2. エアコンガス回収、真空引き、チャージ方法を学ぶ。 3. オートエアコン自己診断を学ぶ。 4. プロアーモータ回路を学ぶ。 5. ベルト、ライト、ワイパーなど部品脱着を学ぶ。	2 前	52.8					○	○		○	○

（工業専門課程 一級自動車工学科）令和6年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			シャシ2A	1.トルクコンバータの構造、作動、性能を理解させる。 2.プラネタリギヤの構造、作動、計算を理解させる。 3.ギヤユニットの構造、作動、点検を理解させる。 4.油圧制御の概要、変速制御の仕組みを理解させる。	2前	52.8			○	○					
○			シャシ2B	1.サスペンションの構造、機能を理解する。 2.フロントサスペンション（ストラット型）の分解組み付けができる。 3.リヤサスペンション（トーションビーム型）の分解組み付けができる。	2前	52.8			○	○			○		○
○			車両2A	1.実習授業で車両の取り扱い方法と注意点を学び、実際のお客さまの車両を取り扱うことへつなげる目的で行う。 2.重量物脱着を行う場合の作業方法、そのときの注意点を学ぶために行う。 3.共同作業の大切さを学ぶために行う。 4.繊細な作業、大胆な作業の判断を付けるために行う。	2前	52.8			○	○			○		○
○			車両2B	1.パワーウィンドウの概要・回路を理解する。 2.ドアロックの概要・回路を理解する。 3.ドアミラーの概要・回路を理解する。 4.車両から指定された部品の取り外し、組み付け調整が行える。	2前	52.8			○	○			○		○
○			日産資格試験	日産整備士資格3級の学科試験を受験する	2後	1.6		○			○		○		○
○			エンジン整備2S	1.ジーゼルエンジンのコモンレール式燃料噴射装置の構造、作動を理解する。 2.ジーゼルエンジンの電気装置について理解する。	2後	24.0		○			○		○		
○			シャシ整備2S	1.動力伝達装置のインタアクスルディファレンシャルの構造、作動を理解する。 2.アクスル及びサスペンション装置の構造、作動を理解する。 3.ホイール及びタイヤの機能、整備を理解する。 4.ブレーキ装置の構造、作動を理解する。 5.電気装置（安全装置及び付属装置）の構造、作動を理解する。	2後	24.0		○			○		○		
○			自動車検査2S	1.自動車の道路運送車両法に関わる項目を理解する。 2.国家2級試験法令問題を理解する。	2後	24.0		○			○		○		
○			整備機器取扱2S	1.自動車検査用機器の取り扱いを理解する。 2.国家2級試験 検査機器に係るシャシ、工学、法規分野の問題を理解する。	2後	19.2		○			○		○		

(工業専門課程 一級自動車工学科) 令和6年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			自動車整備応用2S	国家試験模擬問題の実施及びその解説により、国家二級試験に出題される自動車整備知識の誓いを深める。	2後	38.4		○		○		○			
○			エンジン2C	1. EV、HEVの基礎知識を習得させる。 2. 低圧電気について理解させる。 3. EV安全作業を理解させる。 4. 応急手当を習得させる。	2後	52.8				○	○		○		○
○			エンジン2D	1. 日産3級実技試験を実施する 2. エンジン分野では、故障探求を更に進める 3. エアコン冷凍サイクルの不具合現象の確認と故障探求をする 4. エンジンの主要なセンサアとクチュエータの脱着をする 5. コモンレール式高圧燃料噴射装置を実車確認する	2後	52.8				○	○		○		○
○			シャシ2C	1. 制動倍力装置の構造、作動を理解する。 2. エア・ブレーキの構造、作動を理解する。 3. 整備結果説明を理解する。	2後	52.8				○	○		○		○
○			シャシ2D	1. 実習授業で車両の取り扱い方法と注意点を学び、実際のお客さまの車両を取り扱うことへつなげる目的で行う。 2. ボディーコートについて学ぶ 3. ガラス撥水について学ぶ 4. シャシ分野総合復習 5. ブレーキフルード&エンジンオイル交換。	2後	52.8				○	○		○		○
○			車両2C	1. 実習授業で車両の取り扱い方法と注意点を学び、実際のお客さまの車両を取り扱うことへつなげる目的で行う。 2. 法定2年点検を理解し実施できる。 3. 正しく記録簿が記入できる。 4. 検査ラインが使用できるようにする。	2後	52.8				○	○		○		○
○			車両2D	1. 実習授業で車両の取り扱い方法と注意点を学び、実際のお客さまの車両を取り扱うことへつなげる目的で行う。 2. 共同作業の大切さを学ぶために行う。 3. 繊細な作業、大胆な作業の判断を付けるために行う。 4. 点検作業に付帯する、定期点検部品の交換作業ができる。 5. サーキットテストを用いて正確に測定ができるようになる。	2後	52.8				○	○		○		○
○			オリエンテーション	就職、国家資格、授業に関するPDCAについて理解する。	F3前	9.6		○		○		○			

(工業専門課程 一級自動車工学科) 令和6年度																
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任		
○			日産資格TA3	日産テクニカルアドバイザー資格3級意を受験する	F3後	1.6		○			○		○			
○			整備機器作業	国家一級テキスト「エンジン電子制御」の電気回路、計測機器	F3前	27.2		○			○		○			
○			自動車検査	道路運送車両の保安基準を理解し、検査時の計算が出来る	F3前	20.8		○			○		○			
○			環境・安全	整備業界における環境保全及び安全管理の知識を習得する	F3前	24.0		○			○		○			
○			新技術A	国家一級テキスト「自動車新技術」のエンジン分野を理解する。	F3前	43.2		○			○		○			
○			エンジンA	国家一級テキスト「エンジン電子制御」の高度整備技術を理解する。	F3前	56.0		○			○		○			
○			シャシA	国家一級テキスト「シャシ電子制御」の電子制御ATとオートエアコンの構造・作動・点検方法を習得する	F3前	56.0		○			○		○			
○			ビジネス文書	ビジネス文書及びレポートの書き方を習得する	F3前	6.4		○			○		○			
○			プレゼン	プレゼンスキルを習得する	F3前	6.4		○			○		○		○	
○			計測	1. 計測機器の取り扱いを習得する。 2. 電気計測時のアースポイントの考え方を身に付ける。 3. デジタルサーキットテスタ、外部診断器、発振器、安定化電源装置の取り扱いを身に付ける。 4. オシロスコープの取り扱いを身に付ける。	F3前	27.2					○	○		○		○

(工業専門課程 一級自動車工学科) 令和6年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			工作	1. はんだ付け作業が習得できる。 2. 端子抜きが習得できる。 3. 作業上の注意点を遵守できる。	F3前	27.2			○	○		○			
○			車体電装	1. 各装置の制御が理解できる。 2. 回路図から故障探求が出来る。	F3前	72.0			○	○		○			○
○			ECCS	1. 装置の制御が理解できる。 2. 各制御内容と回路図から故障探求が出来る。	F3前	78.4			○	○		○			○
○			エアコン	1. 冷凍サイクルが理解できる。 2. 各制御内容と回路図から故障探求が出来る。	F3前	59.2			○	○		○			○
○			総合診断	総合診断・環境安全のテキストで総合診断の部分を理解する	F3後	20.8		○			○		○		
○			新技術B	自動車新技術のテキストを理解する	F3後	40.0		○			○		○		
○			エンジンB	国家一級テキスト「エンジン電子制御」のCANと故障探求を理解する。	F3後	27.2		○			○		○		
○			シャシB	国家一級テキスト「シャシ電子制御」のEPS、ABS、振動・騒音について理解する。	F3後	70.4		○			○		○		
○			自動車法規	道路運送車両法を理解し、検査時の計算が出来る	F3後	25.6		○			○		○		
○			お客さま対応A	販売会社での接客技法を習得する	F3後	22.4		○			○		○		

(工業専門課程 一級自動車工学科) 令和6年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			お客さま対応B	販売会社での接客技法を習得する	F3後	32.0		○			○		○		
○			A/T	1. FR用 4速AT、5速ATの仕組みを理解する。 2. FF用 4速ATの仕組みを理解する。 3. AT、CVTの電子制御を理解する。 4. フェイルセーフを理解する。 5. 故障探求の方法を理解する。	F3後	65.6				○	○		○		○
○			新技術	1. ABSの制御、作動を理解する。 2. CVTの制御、作動を理解する。	F3後	65.6				○	○		○		○
○			騒音・振動	1. 振動について理解する。 2. 騒音について理解する。 3. 振動と騒音の関係について理解する。	F3後	68.8				○	○		○		○
○			日産技術B3	日産TSのスキルを身につける。	F3後	65.6				○	○		○		○
○			総合実習	1. 各電子制御装置の制御、作動を理解する。 2. 各電子制御装置のフェイルセーフを理解する。 3. 各電子制御装置の方法を理解する。	F3後	33.6				○	○		○		
○			オリエンテーション	就職、国家資格、授業に関するPDCAについて理解する。	F4前	3.2		○			○		○		
○			日産資格TS2	日産整備士資格TS2級内容を理解する。	F4前	1.6		○			○		○		○
○			お客様対応C	整備工場に必要なお客様対応を習得する	F4前	32.0		○			○		○		○
○			検査実務	1. 継続検査を含む車両法、保安基準の確認。 2. 検査機器の使用方法を習得する。	F4前	20.8				○	○		○		

(工業専門課程 一級自動車工学科) 令和6年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			インターンシップ	1. 整備工場で実施する作業を習得する。 2. 整備工場におけるチームワークを体験する。	F4前	243.2			○		○				○
○			インターンシップフォロー	インターンシップ体験での課題をもとに作業を習得する。	F4前	70.4			○	○		○			
○			定期点検 I	1. 整備工場で実施する法定点検を習得する。 2. 基本作業の中で部品良否判定のポイントを理解・習得する。	F4前	91.2			○	○		○			○
○			日産技術A4	内外装部品の脱着を通して、内装部品の取り扱い及び作業時の注意点を習得する。	F4前	52.8			○	○		○			○
○			インターンシップ前実習	1. 整備工場で実施する法定点検を習得する。 2. 基本作業の中で部品良否判定のポイントを理解・習得する。 3. 点検に付随した部品の脱着ができる	F4前	65.6			○	○		○			
○			定期点検 II	1. 整備工場で実施する法定点検を習得する。 2. 基本作業の中で部品良否判定のポイントを理解・習得する。 3. 車両、状況に見合った点検を考慮して実行できる。	F4前	59.2			○	○		○			○
○			総合学習	1. 国家一級筆記試験合格するための学力を身に付ける。	F4後	80.0		○			○		○		○
○			卒業試験	エンジン、シャシ、電装、故障原因探求、総合診断、環境安全について習得状況を確認、判定する。	F4後	3.2		○			○		○		○
○			お客様対応D	整備工場に必要なお客様対応を習得する	F4後	28.8		○			○		○		○
○			評価実習 I	基本作業とともに部品良否判定を行い、不具合部品の交換を行う。	F4後	52.8			○	○		○			

授業科目等の概要

(工業専門課程 一級自動車工学科) 令和6年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			評価実習Ⅱ	内装部品の脱着を通して、内装部品の取り扱い及び作業時の注意点を習得する。	F4後	59.2			○	○			○		
○			卒業研究	自動車に関する研究について、計画・実施・報告書(PPT)の作成を行い、探究心を育てる。	F4後	76.8				○	○			○	
○			高度故障探求	CAN通信系の故障探求作業時の考え方を習得する。	F4後	40.0				○	○			○	○
○			日産技術B4	低級音と雨漏れに対して、材料や使用部位の違いを学び、修理に役立てることが出来る。	F4後	52.8				○	○			○	○
○			EV	EVの構造を学び、部品の脱着、外部診断機での作業を行うことで、正しい取り扱いを考慮した作業ができる。	F4後	24.0				○	○			○	○
合計					93				4092.8	単位時間(単位)			

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
1. 2年次：学科は各期に二度、実習は各テーマ終了後に試験を実施し、70点以上で履修とする。 3. 4年次：学科、実習ともにテーマ終了後に試験し、70点以上で履修とする。 全ての教科において既定出席率を満たし、未履修がなければ卒業を認める。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	25週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。